

政策提言フォーマット

1 団体概要

団体名

千年の森づくり実行委員会

所在地（事務局所在地）

東京都新宿区住吉町1-20角張ビル4F

特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会
内

代 表

稲葉稔

担 当

財団法人水と緑の惑星保全機構 参与
樹木・環境ネットワーク協会 専務理事
澁澤寿一

連絡先 tel

03-5366-0755

fax

03-5366-0688

e-mail

milforest@freeml.com

団体の活動プロフィール

本NPOは「明治神宮の森」の管理者、住民参加の森づくり「板橋区サンシティ」の企画・推進者、「東京ディズニーランド」の海浜埋立地の早期緑化に携わった者、循環型都市「ハウステンボス」の経営者、親水護岸を実現した「横浜海の公園」などに関わってきたメンバーに、学識経験者（経済学、造林学、造園学）各種コンサルタント実務経験者（経営コンサル、造園コンサル等）、NPOメンバーなど様々な分野で活躍する人々が、近年の資源浪費型文明の象徴ともいえる東京湾のゴミの島に「自然との共生を図る地域循環系」を再構築する場を設け、その形成の過程で、森づくりを並行して進め、森の成長と循環系の確立がパラレルに実感できる場を創出しようとするものである

以下にご提案させていただく構想案は、今年の2月、東京都港湾局公園課に対してプレゼンテーションさせて頂き、受理されたものであるが、護岸等の改良には国レベルでの意志の統一が必要であり、同時に「環境分野に関する提言」として広く一般に公開する良い機会だと思い、応募させていただいたいわば当該プロジェクトを環境に配慮した型で遂行するための幅広い分野からのプロジェクトチームであるご理解いただきたい

ホームページ <http://milforest.tripod.co.jp> 添付資料：代表幹事である澁澤寿一の配属するパンフ・ニュースレター1部

政策提言フォーマット

2 政策提言概要

(1) テーマ 「千年の森づくり構想」- 東京湾中央防波堤埋立地を緑に包まれた循環系モデルに！ -
(2) 政策対象分野 NGO支援、環境教育、調査研究
(3) 政策手段 政策策定段階から実行までのNGOの新たな関わり方の創出 1. NGOによる政策提言 2. NGOによる公共事業の元請けシステム
(4) 提言概要 東京湾中央防波堤内側埋立地（お台場「臨海副都心」沖ゴミ埋立地）は、平成17年度より共用が開始される。 東京都の方針としては、その内80haを緑地とすることは決定しているが、その方法は未定である。 また、東京都としてはなるべく税金を使わない形での公園づくりを目指している。 そこで、私達のNPOは次のような提言を行う。 1. NPOによる公共事業（海上公園づくり）の元請け 主旨： 本NPOの構成員は、学識経験者（経済学、造林学、造園学）、NPO代表者・経験者、コンサルタント経験者（経営コンサル・造園コンサル）、明治神宮林管理者などの個人（所属する組織の身分ではなく、あくまで個人の資格）からなり、森づくり（公園づくり）を造園専門家だけの視点ではなく幅広く社会づくりの中で位置付けることが可能である。 世界中のNPO、NGOからの情報・ノウハウを集積することができる。 →新たな国際的・国内的な民意の吸収 2. 循環型社会を体験・認知させる場とする 主旨： 森づくりにあたり、ゴミを基盤材（資源）として活用することにより、国民に循環型社会を実感してもらう場とする 森づくりを実生から植物の成長の時間にあわせ、植物遷移を考慮に入れ行う これに子供たちも参加することにより、教育の場として活かすことができる 3. エコマネー導入のトライ 場内の有料施設にはエコマネーの考えを導入する 現在の貨幣価値には時間とエネルギーの収支が加えられておらず、それが環境破壊の原因の一つとなっている そこで、当該地は隔離された地域であるから新たな環境施策の試みの場として利用する
(5) 政策の推進に当たっての検討事項 ● 行政の政策決定システムとどのレベルでどのようにすり合わせるか ● 当該埋立地から発生するガス等の状況についての事前調査が必要 調査までを本プロジェクトと一体のものと考えたい